

会場やアンケートで頂いた質問への回答

【ハザードマップの見方について】

		質問	回答
1	会場	荒川上流が決壊した場合の江戸川区までの到達時間は	決壊場所により到達時間が異なりますが、上流側での水は大半が江戸川区を通り海へ流れていきます。
2		川の氾濫とは利根川・荒川どこなのか	<p>事前に河川のどこが決壊するかは予測できませんので、1か所ではなくあらゆる場所が決壊した場合の最悪の事態を想定し、浸水の深さ・時間を最大の値で示しています。洪水は、荒川・江戸川の各河川事務所、高潮は東京都が浸水想定区域図を発表しており、そのデータを使用しています。</p> <p>洪水時に家屋が流出、倒壊等のおそれがある範囲を示すもので、洪水時における家屋安全確保（垂直避難）の適否の判断等に有効な情報です。</p> <p>カスリーン台風の確率論は200年に1度の確率での洪水。江戸川、荒川の河川については、整備目標があり200年に1度起こる洪水に対して、上流はダムで守って、中流は流水地をつくり、下流は堤防をしっかりと強化して洪水が起きないようにしている。目標には到達していないのが現状である。まだまだハード整備には時間がかかると考えられます。</p> <p>浸水継続時間の考え方ですが、想定最大でのものになりますので、上流から流れてくることもあります。江戸川や荒川の堤防が決壊して水が入ってきてしまう場合もあると思います。ポンプ場もポンプは稼働しますが、自家発電のところまで浸水してしまうとポンプが止まってしまうことも想定してのマップとなっております。</p> <p>予測がつきませんが地震で言われているのは首都直下地震、江戸川区も一番恐れなければいけない東京湾北部の首都直下地震の確率は30年で70パーセントと言われています。</p> <p>ポスティングに関して、区立施設など、広報などがわなどを使い全戸配布の周知はしていましたが、それを知らない方は驚かれたかと思います。区としては、大規模水害が起こったときにはどのような事態になるのか皆さんに知っていただけるよう配布しました。</p> <p>区内に降った雨は、ポンプ所で荒川や江戸川に排出しています。1時間あたり50mmを超える雨量の場合、浸水してしまいます。</p> <p>外国語版ハザードマップも各事務所に用意があります。区内には外国人3万5千人が在住しています。中国、韓国、インドの順で在住が多いです。外国人の対応も今後頑張っていきたいと考えております。</p> <p>海拔表示ではないが、小中学校などの施設に荒川の満潮位などを表示しています。表示が足りていない部分については出来る限りの対応を検討させていただきます。</p>
3		このハザードマップは、堤防のどこが切れたという想定になっているのか	
4		流速が早く木造家屋が倒壊とはどういうことか	
5		カスリーン台風くらいのものがきたら対応できないのか	
6		浸水時間は堤防が決壊した場合なのか	
7		水害と地震の確率は	
8		ハザードマップが説明なくポスティングされていた理由は	
9		どれくらいの雨が降ったら浸水（内水）しますか	
10		江戸川区在住125か国の方への説明は	
11		海拔表示を電柱にしてほしい	

		質問	回答
1	アンケート	千年に1度の確率を考えていると聞きましたが、千年に1度というとなかなか起こらないと考えてしまいます。明日にも起こる場合があるのに「千年に1度」という説明はいいのでしょうか？	「100～200年に一度」の計画規模と「1000年に一度」の想定最大規模を使用しており、「想定し得る最大規模」という表現をイメージし易いように使っております。